

魚類	チョウザメ科		影響度	緊急度
1172	<b>チョウザメ科の1種</b>	国RDB:EX, CITES:III	DD	C
	<i>Acipenseridae</i> sp.			

【原産】北半球 【国内分布】東北地方以北,北太平洋,日本海等 【県内分布】利根川(神崎町). 2004年に複数個体が捕獲(TLca.25cm,水深の深い場所),未定着と推定 【形態・生態】淡水生,海水生も産卵時には河川遡上 【繁殖】日本沿岸域の捕獲個体は産卵群ではなく偶発的来遊群 【国内侵入】:- 【県内侵入】:-2004年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】日本各地で食用養殖,観賞魚販売.野外逸出防止が必要 【備考】在来個体群は絶滅した可能性が高い.標本(2004.11.25捕獲,内水面水産研究所) 【文献全般】益田ほか編(1988)日本産魚類大図鑑,岡村ほか編(2001)日本の海水魚 【文献県内】-

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1173	<b>ツチフキ</b>	国RDB:EN	DD	C
	<i>Abbottina rivularis</i>			

【原産】濃尾平野以南,朝鮮半島,中国東部 【国内分布】濃尾平野以南,関東平野,宮城県 【県内分布】県北部.北部を中心に,比較的広く分布 【形態・生態】TL10cm,泥っぽい砂泥底を好む.満2年で成熟,ユスリカ幼虫,浮遊動物,付着藻類など雑食性,環境:平野部の浅い池沼・用水路など止流域 【繁殖】挿鉢状の巣に,沈性粘着卵を産み,オスが保護する,場所:生息地と同じ,時期:4月~6月 【国内侵入】110:- 【県内侵入】110:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】漁獲された場合,雑魚として扱われる 【文献全般】127,191 【文献県内】35

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1174	<b>イチモンジタナゴ</b>	国RDB:CR	A	A
	<i>Acheilognathus cyanostigma</i>			

【原産】琵琶湖淀川系,和歌山県,濃尾平野 【国内分布】琵琶湖淀川系,和歌山県,濃尾平野 【県内分布】- 【形態・生態】TL8cm,タナゴ類の中ではタナゴに次いで体高が低い.食性:付着藻類,底生小動物.環境:細流や灌漑用水路などの緩流域や池沼 【繁殖】イシガイ科の二枚貝に産卵.産卵数は1回につき1~4粒.場所:生息地と同じ,時期:4~8月 【国内侵入】:- 【県内侵入】150,163:- 【影響】121(タナゴ類産卵母貝),在来タナゴ生息地以外は影響度DD 【緊急】- 【対策】- 【備考】聞き取り情報あり(いすみ市),個体未確認 【文献全般】127,タナゴハンドブック 【文献県内】-

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1175	<b>オオタナゴ</b>	要注意外来生物(情報不足)	A	A
	<i>Acheilognathus macropterus</i>			

【原産】ロシア沿海州~ベトナム北部 【国内分布】霞ヶ浦水系,利根川 【県内分布】栗山川,下手賀川,長門川,旧長門川. 2005~2008年に6個体採捕 【形態・生態】TL10cm,体高が高い.背鰭・尻鰭基底が長く,鰓蓋後方に暗色斑.雑食性.環境:河川下流域の緩流域,湖沼 【繁殖】淡水産二枚貝に産卵.時期:5~6月中旬 【国内侵入】210(真珠養殖用貝?):2001年(霞ヶ浦) 【県内侵入】400:2005年 【影響】121(タナゴ類産卵母貝),在来タナゴ生息地以外は影響度DD 【緊急】- 【対策】- 【備考】霞ヶ浦水系,利根川経由侵入 【文献全般】127,萩原(2011)魚雑58(1):41-48,萩原(2002)ボテジャコ6:19-22 【文献県内】坂本(2009)千葉水総研報4:41-42.

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1176	<b>カネヒラ</b>		A	C
	<i>Acheilognathus rhombus</i>			

【原産】西日本 【国内分布】- 【県内分布】印旛沼,手賀沼 【形態・生態】TL12cm.食性:付着藻類,水草.環境:細流や灌漑用水路などの緩流域や池沼 【繁殖】秋産卵,春孵化,イシガイやタテボシなどの殻長3cm以上の二枚貝に産卵.場所:生息地と同じ.時期:9~11月 【国内侵入】210,150,163:- 【県内侵入】400,150,163:- 【影響】121(タナゴ類産卵母貝),在来タナゴ生息地以外は影響度DD 【緊急】- 【対策】移動・放流防止の普及啓発 【備考】霞ヶ浦水系に侵入.その後県内河川へ.近年の人為導入可能性大.西印旛沼(尾崎真澄写真同定) 【文献全般】176,127 【文献県内】佐土(2011),タナゴハンドブック,千葉水総研(2012)H22年度業務年報

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1177	<b>シロヒレタビラ</b>	国RDB:EN	C	C
<i>Acheilognathus tabira tabira</i>				

【原産】東海地方～琵琶湖以南 【国内分布】東海地方～琵琶湖以南 【県内分布】戸神川,後述文献調査で記録された。未定着 【形態・生態】TL8cm,湖岸の砂泥底・岩礁域,主に付着藻類食,環境:河川下流の緩流域や用水 【繁殖】ドブガイやマツカサガイなどのイシガイ科二枚貝類の鰓葉内に産卵,場所:生息域に同じ,時期:4月～7月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】210(観賞魚の放流の可能性):1998年に記録 【影響】121(タナゴ類産卵母貝),141(在来亜種アカヒレタビラ),在来タナゴ生息地以外は影響度DD 【緊急】- 【対策】啓発による移動や飼育個体の放流の防止 【備考】アカヒレタビラと同種別亜種 【文献全般】127,191 【文献県内】115

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1178	<b>コクレン</b>	国RDB:EN	D	C
<i>Aristichthys nobilis</i>				

【原産】アジア大陸東部 【国内分布】霞ヶ浦,北浦,利根川下流域,江戸川. 淀川にも放流により生息 【県内分布】利根川とその付属水域 【形態・生態】TL1m,流れの緩やかな場所や止水域に生息.中・上層を群泳,食性:動物プランクトン,環境:大河川下流緩流域,平野部の湖沼・池などの淡水域 【繁殖】流下卵を産み,卵は流下しながら発生を続け,淡水中で孵化,このため利根川以外では繁殖が確認されていない,場所:大河川下流緩流域,時期:6～7月 【国内侵入】110:明治～1945年に,複数回 【県内侵入】110:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】霞ヶ浦などでは漁業対象 【文献全般】127,191 【文献県内】35

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1179	<b>ゼゼラ</b>	国RDB:VU	DD	C
<i>Biwia zezera</i>				

【原産】濃尾平野,琵琶湖以南 【国内分布】濃尾平野,琵琶湖以南,関東平野 【県内分布】利根川,江戸川,印旛沼,高崎川. 利根川水系を中心に定着していると推定 【形態・生態】TL8cm,底生性で,止流域泥底や砂泥底を好む,満1年で成熟,付着藻類,デトリタスなど雑食性,環境:河川下流域,浅い湖沼,用水,河川敷内ワンド 【繁殖】アシやマコモの根元に沈性粘着卵を産卵,時期:4月～7月 【国内侵入】100,関東地方へは移植:- 【県内侵入】100:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】漁獲されると雑魚として扱われる 【文献全般】127,191 【文献県内】35

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1180	<b>ゲンゴロウブナ</b>	国RDB:EN	DD	C
<i>Carassius cuvieri</i>				

【原産】琵琶湖,淀川水系 【国内分布】日本各地 【県内分布】県内のほぼ全域の河川,湖沼,溜池など. 釣り目的で県内各地で継続的に放流 【形態・生態】TL約40cm,植物プランクトン食.環境:河川下流域の緩流域,池沼,湖,ダム湖等の表・中層 【繁殖】場所:水草や浮遊物に付着卵を産み付ける,時期:4-6月 【国内侵入】110:- 【県内侵入】110:- 【影響】- 【緊急】防除の必要性について社会的検討が必要 【対策】- 【備考】県内ではその大部分が飼育品種ヘラブナと推定. 漁業権魚種「ふな類」として種苗放流あり 【文献全般】127,191 【文献県内】35,37

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1181	<b>ソウギョ</b>	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	D	C
<i>Ctenopharyngodon idellus</i>				

【原産】ユーラシア大陸東部 【国内分布】全国 【県内分布】利根川水系(江戸川,印旛沼),栗山川など 【形態・生態】TL1m,水生植物食,環境:大河川下流緩流～止水域のやや深い所 【繁殖】流下卵を産み,淡水中で孵化する,大河川以外では卵が孵化しないため,利根川以外では繁殖が確認されていない,場所:大河川下流緩流域,時期:6～7月,止水域での繁殖記録はない 【国内侵入】110(除草目的):1943～45年(利根川水系) 【県内侵入】110(除草目的):1943～45年(利根川水系) 【影響】- 【緊急】なし 【対策】除草目的で導入された個体の逸出防止のための普及啓発が必要 【備考】- 【文献全般】127,191,202,176 【文献県内】246,106,35,37

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1182	<b>コイ</b>	IUCN100	<b>A</b>	<b>C</b>
	<i>Cyprinus carpio</i>			

【原産】ユーラシア大陸(野生種) 【国内分布】全国 【県内分布】県内各地,ほとんどの水域(野生種の自然分布不明) 【形態・生態】TLca.60cm,緩流域.冬は深みで越冬,底生動物を中心に雑食性,環境:河川中・下流域の淡水・汽水域,湖沼,溜池,水田からの水路など 【繁殖】1産卵期中に2~3回,1回に20万~50万粒の沈性粘着卵を水草などに産卵,時期:4月末~7月 【国内侵入】110:不明 【県内侵入】110:不明 【影響】141(養殖個体や人工品種)112(底生動物)230(コイヘルペス症,2003年県内発生),150(底質攪乱) 【緊急】- 【対策】移動・放流は制限必要 【備考】水域によっては漁業対象種,県内では2003年以後放流自粛指導中 【文献全般】127,191 【文献県内】35,37

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1183	<b>ホンモロコ</b>	国RDB:CR	<b>DD</b>	<b>C</b>
	<i>Gnathopogon elongatus</i>			

【原産】琵琶湖(固有種) 【国内分布】琵琶湖のほか,東京都奥多摩湖,山梨県山中湖・河口湖,岡山県湯原湖などに移植 【県内分布】印旛沼,手賀沼で捕獲記録あり,移入による一時的生息と推測される 【形態・生態】TL14cm,湖沼型で,琵琶湖では沖合を群泳する,動物プランクトン食性,環境:湖沼 【繁殖】1尾のメスを数尾のオスが追い,沈性粘着卵を産みつける,場所:湖岸のマコモ帯,内湖,灌漑用水路など,時期:3月~7月 【国内侵入】110:- 【県内侵入】110:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】県内で養殖されているため,逸出防止のための普及啓発が必要 【備考】琵琶湖では高級食用魚 【文献全般】127,191 【文献県内】35

魚類	コイ科	国内外来生物?	影響度	緊急度
1184	<b>タモロコ</b>		<b>DD</b>	<b>C</b>
	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>			

【原産】愛知県以西の本州西部,四国 【国内分布】全国 【県内分布】ほぼ全域 【形態・生態】TL10cm,満1年で成熟,食性:ユスリカ幼虫,動物プランクトン,水草など,環境:中・下流部,用水路や湖沼淡水域 【繁殖】水草や抽水植物などに沈性粘着卵を産卵,時期:4月~7月 【国内侵入】110:- 【県内侵入】110:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】食用になるが千葉県では利用されていない 【文献全般】127,191 【文献県内】D田中・新島(2000)35,37,29

魚類	コイ科		影響度	緊急度
1185	<b>ズナガニゴイ</b>		<b>DD</b>	<b>C</b>
	<i>Hemibarbus longirostris</i>			

【原産】近畿以西の本州,朝鮮半島,中国遼河 【国内分布】近畿以西の本州,静岡県藁科川,山陰の一部の河川 【県内分布】白狐川で捕獲記録あり 【形態・生態】TL20cm,緩流部の水底付近に生息し,砂にもぐる習性がある.日中,水面近くに浮上していることもある.満2年で全長10~13cmに成長し,成熟,主に止水性食性:カゲロウ類などの水生昆虫,環境:河川中流の緩流部 【繁殖】沈性粘着卵産卵,時期:5月~6月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:-1980年代前半? 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】千葉県内での分布については調査が必要,漁獲対象魚 【文献全般】127,191 【文献県内】35

魚類	コイ科		影響度	緊急度
1186	<b>ハクレン</b>		<b>C</b>	<b>C</b>
	<i>Hypophthalmichthys molitrix</i>			

【原産】アジア大陸東部 【国内分布】利根川水系 【県内分布】利根川,印旛沼,与田浦,栗山川. 繁殖・定着は利根川水系のみ.放流されたダム湖等では繁殖なし 【形態・生態】TL1m,水面近くを遊泳,時々ジャンプする.4-5歳くらいで成熟,植物プランクトン食.環境:大河川緩流域など,平野部の湖沼・ダム湖などの淡水域 【繁殖】中流域で10数尾が集団で産卵.卵は流下しながら発生,淡水域で孵化.海に達したものは死滅,場所:大河川の中流域まで遡上し産卵,時期:6月~7月 【国内侵入】110:最終は1943年 【県内侵入】110:最終は1943年 【影響】350(卵による水道水への着臭被害) 【緊急】- 【対策】- 【備考】漁業権魚種 【文献全般】127,291 【文献県内】29

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1187	<b>ワタカ</b>	国RDB:CR	C	C
<i>Ischikauia steenackeri</i>				

【原産】琵琶湖淀川水系 【国内分布】琵琶湖,北陸地方など 【県内分布】利根川流域下流域,江戸川,八間川,大須賀川,印旛沼,手賀沼,一宮川.各地で定着 【形態・生態】TL30cm,止流域アシ場など.満1年でTLca.10cm,満2年15~20cmで成熟,水草を主とした雑食性 【繁殖】水温の高い夏場の主に降雨後の夜間に,沈性粘着卵を産む,場所:水草など,時期:6月~8月 【国内侵入】210:- 【県内侵入】210:- 【影響】112(水草) 【緊急】- 【対策】- 【備考】原産地の琵琶湖では減少している 【文献全般】127,191 【文献県内】35,37,29

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1188	<b>アオウオ</b>	要注意外来生物(情報不足)	D	C
<i>Mylopharyngodon piceus</i>				

【原産】中国大陸 【国内分布】利根川水系.他に湖沼・溜池など 【県内分布】利根川下流域,江戸川,数は少ない 【形態・生態】TL60-100cm,大河川下流部やそれに連なる水域のやや深いところ,食性:主にタニシなどの貝類や底生動物.環境:大河川下流緩流域,平野部の湖沼,掘割などの淡水域 【繁殖】流下卵を産卵し,流下中に淡水域で孵化できたものだけが生存.そのため,大河川以外繁殖できない,場所:大河川の緩流域,時期:6~7月 【国内侵入】110:1942年 【県内侵入】110:1942年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】大物釣りの対象魚として好まれる 【文献全般】127,176 【文献県内】35,37

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1189	<b>カワムツ</b>		C	C
<i>Nipponocypris temminckii</i>				

【原産】富山県および静岡県以西の本州,四国,九州 【国内分布】- 【県内分布】養老川.複数年(2007~2011年)で確認,定着を推測 【形態・生態】TL15cm,縄張りを形成.雑食性.環境:河川上・中流域,湖沼沿岸 【繁殖】雌雄一対で産卵.雌は複数回の産卵を1日で終わらせる.場所:淵尻から平瀬の砂底泥部,礫底部.時期:5~8月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】210?:- 【影響】121,142(在来オイカワ?) 【緊急】- 【対策】- 【備考】内水研漁獲物調査で出現 【文献全般】127 【文献県内】藍(2011)千葉水総研報6:9-16.

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1190	<b>ハス</b>	国RDB:VU	DD	C
<i>Opsariichthys uncirostris uncirostris</i>				

【原産】琵琶湖淀川水系,福井県三方湖 【国内分布】北海道を除く全国各地 【県内分布】利根川,江戸川,印旛沼水系,手賀沼,一宮川,夷隅川,栗山川など.餌の確保できる比較的大きな水域には広く生息・定着 【形態・生態】TL30cm,魚食性,遊泳力が強い.仔稚魚期は動物プランクトン食,環境:大河川下流緩流域,湖沼 【繁殖】場所:緩流域の砂底または砂礫底で産卵,時期:6~8月 【国内侵入】210:- 【県内侵入】210(琵琶湖産アユ種苗の放流に伴う):- 【影響】- 【緊急】なし 【対策】種苗放流のあり方の再検討 【備考】- 【文献全般】127,191 【文献県内】29,35,37

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1191	<b>ムギツク</b>		DD	C
<i>Pungtungia herzi</i>				

【原産】福井,岐阜,三重の各県以西の本州,四国北東部,九州北部,朝鮮半島 【国内分布】福井,岐阜,三重の各県以西の本州,四国北東部,九州北部 【県内分布】白狐川で記録がある.未定着と思われる 【形態・生態】TL15cm,河川の中・下流域,流れの緩い淵や淀みの,岩盤・コンクリートブロック・沈水植物の隙間などに潜む,水生昆虫を中心にした雑食性 【繁殖】大きな石の下面,岩盤の割れ目,水草,水面の浮遊木などに産み付ける,場所:生息場所に同じ,時期:5月~6月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】雑魚として取り扱われ,食用になる 【文献全般】127,191 【文献県内】35

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1192	<b>カゼトゲタナゴ</b>	国RDB:EN	<b>A</b>	<b>A</b>
<i>Rhodeus atremius atremius</i>				

【原産】- 【国内分布】九州北部, 杵岐 【県内分布】手賀沼水系の河川 【形態・生態】TL5cm, 砂礫混じりの砂泥域を好む. 食性: 小型水生昆虫. 環境: 水路や細流でやや流れのある水域 【繁殖】小型二枚貝に産卵. 場所: 生息域に同じ. 時期: 5~6月 【国内侵入】-: 【県内侵入】150, 163: 【影響】121(タナゴ類産卵母貝), 在来タナゴ生息地以外は影響度DD 【緊急】在来タナゴ生息地以外は緊急度DD 【対策】移動, 放流防止の啓発 【備考】手賀沼水系河川で報告有り(浦部川) 【文献全般】127タナゴハンドブック 【文献県内】-

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1193	<b>タイリクバラタナゴ</b>	要注意外来生物(適否検討), 生態学会100	<b>A</b>	<b>A</b>
<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>				

【原産】アジア大陸東部, 台湾 【国内分布】全国 【県内分布】南部の一部以外, 河川改修・圃場整備などに伴う環境変化により, 減少中 【形態・生態】TL8cm, 緩流~止水域. 寿命1-2年, 環境: 平野部の池沼, 細流, 溜池水路など 【繁殖】イシガイ科二枚貝鰓葉に産卵, 時期: 地域によって4~10月 【国内侵入】210: 1940年代 【県内侵入】210: 1940年代以降 【影響】121(タナゴ類産卵母貝) 【緊急】ミヤコタナゴ生息地以外はB~C 【対策】移動放流防止, 駆除(特にミヤコタナゴ生息地) 【備考】- 【文献全般】202, 114, 192, 127, 233 【文献県内】324, 35, 37, 29, 27, 88

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1194	<b>ビワヒガイ</b>		<b>C</b>	<b>C</b>
<i>Sarcocheilichthys variegatus microoculus</i>				

【原産】琵琶湖, 瀬田川 【国内分布】琵琶湖, 瀬田川, 東北地方, 関東, 北陸, 諏訪湖, 高知県など 【県内分布】利根川水系など. 定着 【形態・生態】TL20cm, 砂底や砂礫底の中・低層. 満2年で成熟, 食性: 水生昆虫幼虫, 小型巻貝類, 動物プランクトン, 付着藻類など, 環境: 河川下流緩流域, 湖沼など 【繁殖】イシガイ科二枚貝に産卵する. 場所: 岸近くの沈性植物が粗生する緩流域, イシガイ科二枚貝類の生息場所, 時期: 4月~7月 【国内侵入】210:- 【県内侵入】210:- 【影響】121(タナゴ類産卵母貝) 【緊急】なし 【対策】- 【備考】琵琶湖では漁業対象種 【文献全般】127, 191 【文献県内】29, 35

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1195	<b>カワヒガイ</b>	国RDB:NT	<b>DD</b>	<b>C</b>
<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>				

【原産】濃尾平野, 琵琶湖以南 【国内分布】濃尾平野, 琵琶湖以南 【県内分布】亀成川. 他に記録なく, 未定着と考えられる 【形態・生態】TL12cm, 石や沈性植物の隙間などに潜む, 雑食性(小型水生昆虫, 巻貝, 付着藻類など), 環境: 河川中・下流の緩流域とそれに続く用水などの砂礫底. 水深1~3m程度の砂礫底 【繁殖】イシガイ科二枚貝類に産卵, 時期: 5~8月 【国内侵入】-: 【県内侵入】不明: 不明 【影響】- 【緊急】なし 【対策】- 【備考】- 【文献全般】127, 191 【文献県内】115

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1196	<b>スゴモロコ</b>	国RDB:VU	<b>DD</b>	<b>C</b>
<i>Squalidus chankaensis biwae</i>				

【原産】琵琶湖 【国内分布】琵琶湖, 関東 【県内分布】県内各地に広く生息 【形態・生態】TL12cm, 琵琶湖では水深10m付近の砂泥底から砂底の水底近くを群泳. 冬は深みに移動. 満1~2年で成熟, 食性: 水生昆虫, ヨコエビ, 小型巻貝, 浮遊動物, 環境: 琵琶湖では水深10m前後の砂礫底 【繁殖】卵は弱い粘性を持つ沈性卵で, 直接水底にばら撒かれると推測, 場所: 生息域に同じ, 時期: 5月~6月 【国内侵入】210: 不明 【県内侵入】210: 不明 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】琵琶湖では漁業対象種 【文献全般】127, 191 【文献県内】35, H20千葉水総研業務報

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1197	<b>コウライモロコ</b>		DD	C
	<i>Squalidus chankaensis</i> subsp.			

【原産】- 【国内分布】濃尾平野,和歌山県～広島県本州瀬戸内側,四国北東部 【県内分布】利根川水系 【形態・生態】TL15cm,緩流の砂底・砂礫底を群泳.雑食性.環境:河川の中・下流 【繁殖】産卵形態と発育過程はスゴモロコと同様.時期:5～7月 【国内侵入】210:- 【県内侵入】210:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】H9河川水辺の国勢調査(国交省),スゴモロコと非常に近縁であるため,同定が困難 【文献全般】127 【文献県内】-

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1198	<b>ヤリタナゴ</b>	国RDB:NT, 県RDB:C	A	A
	<i>Tanakia lanceolata</i>			

【原産】北海道と南九州を除く日本各地,朝鮮半島西部 【国内分布】北海道と南九州を除く日本各地 【県内分布】県北部(在来),利根川水系,養老川水系,一宮川水系,小櫃川水系. 県北部以外は外来の可能性 【形態・生態】TL10cm,やや流れのあるところを好む.雑食性.環境:水田地帯の細流,河川,湖沼 【繁殖】マツカサガイなどの淡水二枚貝に産卵.時期:4～6月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】121(産卵母貝),142(県北部個体群)在来タナゴ生息地以外はD 【緊急】- 【対策】- 【備考】他のタナゴ類との競合・交雑 【文献全般】176,タナゴハンドブック,127 【文献県内】27

魚類	コイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1199	<b>ミヤコタナゴ</b>	天然記念物,種の保存法,国RDB:CR, 県RDB:	A	A
	<i>Tanakia tanago</i>			

【原産】関東地方 【国内分布】千葉県,栃木県 【県内分布】- 【形態・生態】TL4.5～6cm,水流のある水域を好む.雑食性.環境:湧水のある細流や溜池など 【繁殖】マツカサガイやドブガイなどの淡水二枚貝に産卵.時期:4～7月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】140(在来ミヤコタナゴ個体群),121(在来タナゴ類生息地) 【緊急】- 【対策】- 【備考】非生息地における密放流の事例あり,文化財保護法および種の保存法により,採集や飼育等の行為は禁止されている 【文献全般】127 【文献県内】-

魚類	ドジョウ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1200	<b>カラドジョウ</b>	要注意外来生物(情報不足)	DD	C
	<i>Paramisgurnus dabryanus</i>			

【原産】中国,朝鮮半島 【国内分布】宮城県,栃木県,茨城県,埼玉県,静岡県,長野県,香川県 【県内分布】成田市 【形態・生態】TL10～20cm.腸呼吸ができる.雑食性.場所:水田や農業用水路,河川緩流域 【繁殖】時期:6～7月 【国内侵入】110:- 【県内侵入】110:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】北総域中心に確認事例有り 【文献全般】127,303,176 【文献県内】写真による同定

魚類	ギギ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1201	<b>ギギ</b>		DD	C
	<i>Pseudobagrus nudiceps</i> Sauvage			

【原産】近畿地方以西の本州,四国,九州北東部.,韓国,中国 【国内分布】自然分布域のほか,秋田県,新潟県,福井県,山梨県,愛知県,岐阜県,三重県,熊本県 【県内分布】利根川(野田市). 2001年5月(利根川,野田市)捕獲個体標本あり 【形態・生態】TL30cm.夜行性で昼間は石下や水草に潜む.雑食性だが,肉食傾向.環境:河川中流域や湖沼 【繁殖】場所:石下やその隙間.時期:5～8月 【国内侵入】210:- 【県内侵入】400?:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】127 【文献県内】-

魚類	アメリカナマズ科		影響度	緊急度
1202	<b>チャンネルキャットフィッシュ</b>	特定外来生物	<b>B</b>	<b>B</b>
	<i>Ictalurus punctatus</i>			

【原産】北米 【国内分布】利根川下流域,霞ヶ浦など 【県内分布】利根川,江戸川,栗山川,印旛沼,手賀沼. 河川やその付随水域を中心に生息 【形態・生態】降雨時には陸上を移動する,幅広い雑食性,環境:平野部の規模の大きい池沼や河川下流域,それに連なる水路など 【繁殖】時期:6~8月 【国内侵入】110:1971年頃? 【県内侵入】400:1980年代前半 【影響】112(生態的地位が高い),340(ウナギ延縄漁や刺網漁業での混獲) 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】別名アメリカナマズ 【文献全般】202,114 【文献県内】247,248,249,118

魚類	ロリカリア科		影響度	緊急度
1203	<b>マダラロリカリア</b>	要注意外来生物(情報不足)	<b>DD</b>	<b>C</b>
	<i>Liposarcus disjunctives</i>			

【原産】- 【国内分布】沖縄県 【県内分布】印旛沼. 未定着と推測 【形態・生態】TL50cm.15℃以下では稚魚は生存できない.塩分耐性無し.空気呼吸ができるため汚濁に強い.食性:付着藻類,デトリタス,底生動物,場所:河川中流域や湖沼 【繁殖】川岸や川床に窪みを掘り産卵.抱卵数は2000~4000粒.時期:5~10月 【国内侵入】:- 【県内侵入】163(観賞魚):- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】別名:ブレコ,沖縄県で外来個体群が定着 【文献全般】127,176,291 【文献県内】-

魚類	キュウリウオ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1204	<b>ワカサギ</b>		<b>C</b>	<b>C</b>
	<i>Hypomesus transpacificus nipponensis</i>			

【原産】利根川および島根県以北 【国内分布】沖縄を除く全国各地 【県内分布】利根川水系(在来),亀山湖・高滝湖(外来). 県内でも放流事業が継続されている 【形態・生態】TLca.10cm,沿岸汽水域~淡水域,広い水温適応性.孵化仔魚は流下し,沿岸生活.満1年で成熟,北海道では2年以上の個体も,食性:動物プランクトン,環境:内湾,湖沼・人工湖とそれらにつながる河川下流域 【繁殖】岸辺や枯木,水草,水没した植物片などに産卵,時期:1~5月 【国内侵入】110:- 【県内侵入】110:- 【影響】141(在来個体群) 【緊急】- 【対策】種苗放流のあり方検討 【備考】漁業対象種 【文献全般】127,191 【文献県内】29,35,37,3

魚類	サケ科		影響度	緊急度
1205	<b>ギンザケ</b>		<b>DD</b>	<b>C</b>
	<i>Oncorhynchus kisutch</i>			

【原産】北米大陸,北太平洋 【国内分布】北海道,東北地方 【県内分布】利根川下流域. 定着はしていないと考えられる 【形態・生態】TLca.60cm,BW4kg,成熟年齢は通常3-4年,河川で孵化後,1年を淡水域で過ごした後,海に下り,北太平洋を回遊.孵化後3~4年で母川に回帰する.動物食,環境:若魚は北太平洋の外洋域.成熟すると河川にはいり上流で産卵.孵化後1年間は淡水域で過ごし,後に降海 【繁殖】河底に巣を掘り,産卵. 場所:河川上流域の浅くて流れの速い場所,時期:10月~1月 【国内侵入】110:- 【県内侵入】400(養殖個体の迷い込み?):- 【影響】- 【緊急】なし 【対策】- 【備考】- 【文献全般】127,191 【文献県内】38

魚類	サケ科	要注意外来生物(適否検討), IUCN100, 生態学	影響度	緊急度
1206	<b>ニジマス</b>		<b>D</b>	<b>C</b>
	<i>Oncorhynchus mykiss</i>			

【原産】北米太平洋岸~カムチャツカ半島 【国内分布】九州以北 【県内分布】高滝ダム,亀山ダム,養老川,小櫃川,夷隅川. 放流による生息. 定着はしていないと推定 【形態・生態】TL40cm,陸生・水生昆虫食,環境:河川上・中流域に生息し,流れのあるところを好むが,湖やダム等でも水が清澄な場合生息可能 【繁殖】番を作り,♂が産卵床を掘り,同時に産卵・放精する. 卵は1ヶ月~1ヵ月半で浮出する,時期:本州で11~3月 北海道で1~5月 【国内侵入】150,110:1877年以降複数回の放流 【県内侵入】150:- 【影響】112,120(競争・捕食による他生物の衰退) 【緊急】- 【対策】- 【備考】放流地では漁業権魚種 【文献全般】202,127,191 【文献県内】2,35

魚類	メクラウナギ科		影響度	緊急度
1207	<b>タウナギ</b>		DD	C
	<i>Monopterus albus</i>			

【原産】中国,朝鮮半島,インド,沖縄など 【国内分布】関東地方以南の本州,九州 【県内分布】印旛沼水系,水路工事や圃場整備時に泥中より発見される例がある 【形態・生態】TL80cm,淀んだ泥底を好む.雌から雄への性転換を行う.空気呼吸可.夜行性.食性:小魚や水生昆虫.環境:河川下流域や水路の緩流域,溜池など 【繁殖】田や水路に掘ったトンネル内で泡巣を作り,雄が保護し,稚魚は口内保育.時期:6~7月 【国内侵入】163?:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】127,176 【文献県内】-

魚類	トウゴロウイワシ科		影響度	緊急度
1208	<b>ペヘレイ</b>		DD	C
	<i>Odonthestes bonariensis</i>			

【原産】南アメリカ 【国内分布】霞ヶ浦,利根川下流部 【県内分布】印旛沼,利根川水系.県内では未定着と考えられる.利根川下流でまれに出現 【形態・生態】TL50cm,通常群れをつくり,表層を遊泳,浮遊動物.主に昆虫類やエビ類なども食べる.環境:湖沼やダム湖で放流例多数 【繁殖】浅場の水生植物などに付着糸で産卵,場所:湖岸の水生植物の生えるような場所,時期:3月~6月,秋にも産卵することがある 【国内侵入】110:1966年 【県内侵入】400:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】原産地では高級魚,各地の水産試験研究機関で増殖・放流 【文献全般】127 【文献県内】35

魚類	カダヤシ科		影響度	緊急度
1209	<b>カダヤシ</b>	特定外来生物. IUCN100. 生態学会100	A	C
	<i>Gambusia affinis</i>			

【原産】北米~メキシコ中部 【国内分布】本州から琉球列島 【県内分布】県西部.都市部に多く,メダカのすむような土水路には少ない 【形態・生態】TL♀5cm,♂3cm,一年中,早成熟,5月に産まれたものは同年内に成熟,雑食性.環境:淡水~汽水域.水質汚染や高塩分に強く,市街地を流れる都市河川や,溜池から河口汽水域まで生息 【繁殖】体内受精による卵胎生魚で,TLca.9mmの仔魚を産む,場所:生息場所に同じ,時期:晩春~初秋 【国内侵入】110:1916年 【県内侵入】110:不明 【影響】在来メダカ生息地以外はB,121(メダカ),112 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】- 【文献全般】127,191,202 【文献県内】28,324,35,37

魚類	カダヤシ科		影響度	緊急度
1210	<b>グッピー</b>	要注意外来生物(適否検討)	C	C
	<i>Poecilia reticulata</i>			

【原産】ベネズエラからガイアナ 【国内分布】本州から琉球列島 【県内分布】都川,支川都川,葦川.都市部河川の一部でスポット的に生息 【形態・生態】TL♀5cm,♂3cm,低温には比較的弱い,食性:藻類,デトリタス,小型水生動物など,環境:平野部の緩流域,池沼,水田など.汚染や塩分耐性強い,都市の下水溝や汽水域などでも生息 【繁殖】卵胎生.♂臀鰭が交尾器,体内受精,TL9mm位の稚魚を数尾-100尾程度産む,水温25℃以上であれば一年中 【国内侵入】163:1960年代以降に拡大 【県内侵入】163:- 【影響】120(メダカ?) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】127,191 【文献県内】37

魚類	メダカ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1211	<b>ミナミメダカ</b>	県RDB:B	A	C
	<i>Oryzias latipes</i>			

【原産】兵庫県以南の日本海側および岩手県以南の太平洋側の本州,四国,九州,南西諸島 【国内分布】全国 【県内分布】在来個体:県内各地,国内外来の野生メダカ・ヒメダカ:遺伝的に混在している地域も見られる 【形態・生態】TLca4cm,止水域,緩流域の表層,雑食性,動植物プランクトンや小さな昆虫類など.環境:淡水域 【繁殖】主に4~8月水草などに産卵 【国内侵入】163:- 【県内侵入】163(ヒメダカ):- 【影響】在来メダカ生息地以外はDD,141(在来メダカ) 【緊急】- 【対策】移動や放流防止 【備考】ヒメダカはメダカの人工品種.野生メダカは各地で異なる地方群が放流.旧称メダカ 【文献全般】127,191,小山・北川(2009),竹花・北川(2010),小山ら(2011),Asai et al.(2011) 【文献県内】竹花・酒泉(2003)



魚類	モロネ科		影響度	緊急度
1212	<b>ストライプトバス</b>	特定外来生物	DD	C
	<i>Morone saxatilis</i>			

【原産】北米大陸 【国内分布】江戸川(写真確認),東京湾,霞ヶ浦(聞き取り) 【県内分布】江戸川(写真確認),東京湾(聞き取り)  
 【形態・生態】TLca50cm♀,魚食性,環境:沿岸域～汽水域,産卵時淡水域に入る 【繁殖】繁殖場所:河川淡水域 【国内侵入】不明:1990年代後半? 【県内侵入】不明:1990年代後半? 【影響】- 【緊急】不明 【対策】外来生物法の遵守 【備考】写真確認,聞き取り:東京湾ではまれに捕獲される(望月私信) 【文献全般】- 【文献県内】-

魚類	スズキ科		影響度	緊急度
1213	<b>タイリクスズキ</b>	要注意外来生物(情報不足)	DD	C
	<i>Lateolabrax</i> sp.			

【原産】黄海,渤海,中国沿岸 【国内分布】西日本から関東地方沿岸域 【県内分布】東京湾,外房海域. 外房海域では釣りにより比較的容易に捕獲されている 【形態・生態】TL70cm以上,沿岸域に住む.河口内でもよくつれる.生活史の詳細は不明,動物食性と推測される,環境:沿岸域,河口汽水域 【繁殖】- 【国内侵入】110:1980年代後半以降 【県内侵入】110,400:1990年代には確認されている 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】127,202 【文献県内】-

魚類	サンフィッシュ科		影響度	緊急度
1214	<b>ブルーギル</b>	特定外来生物, 生態学会100	A	A
	<i>Lepomis macrochirus</i>			

【原産】北米大陸 【国内分布】ほぼ全国 【県内分布】ほぼ全域. 大河川から孤立した溜池まで広く生息 【形態・生態】TL20cm, 環境:緩流～止水域人工護岸や魚礁などにも,冬:深場で越冬.幅広い雑食性 【繁殖】初夏に営巣繁殖. ♀4-5年♂3-4年で成熟 【国内侵入】150,110:1960年 【県内侵入】150:1960年 【影響】110(在来生物群集),340(在来漁業対象種,入網による作業効率低下),またはB～C 【緊急】またはB～C 【対策】外来生物法遵守,影響について水域ごとの調査 【備考】- 【文献全般】127,191,167,113,202 【文献県内】245,35,37

魚類	サンフィッシュ科		影響度	緊急度
1215	<b>コクチバス</b>	特定外来生物, 生態学会100	B	C
	<i>Micropterus dolomieu</i>			

【原産】北米 【国内分布】全国 【県内分布】利根川(確認は数例のみ). 未定着と推定. 県内には生息適地が少ない? 【形態・生態】1年15cm,2年22cmを超えて成魚となる,肉食性で魚類や甲殻類が主食,環境:河川上・中流域の淡水域.オオクチバスより冷水性で,流れのあるところに生息する 【繁殖】オスがすり鉢状の巣をつくり,メスに産卵させ,卵から稚魚までを保護する,時期:5～7月 【国内侵入】150:1925年(芦ノ湖) 【県内侵入】150:- 【影響】110(在来生物群集),340(有用魚種食害) 【緊急】- 【対策】外来生物法・内水面漁業調整規則の遵守 【備考】- 【文献全般】202,207 【文献県内】写真同定(利根川)

魚類	サンフィッシュ科		影響度	緊急度
1216	<b>オオクチバス</b>	特定外来生物, IUCN100, 生態学会100	A	A
	<i>Micropterus salmoides</i>			

【原産】北米 【国内分布】全国 【県内分布】全域 【形態・生態】TL50cm,春～秋:止水域～緩流域浅所,初夏:営巣,繁殖.冬季:深場で越冬. ♀4～5年,♂3～4年で成熟,動物プランクトン(幼)～魚食性,環境:淡水域.汽水域? 【繁殖】湖沼等の止水域・緩流域の水深1.5m位までの水底に営巣,時期:5～7月 【国内侵入】150(複数回移植放流),110:1925年 【県内侵入】150:1965年頃(手賀沼) 【影響】112(魚類を中心.特に溜池や小規模水域において影響大),340(在来漁業対象種) 【緊急】またはB 【対策】外来生物法・内水面漁業調整規則の遵守 【備考】- 【文献全般】113,202,127,191,167 【文献県内】189,105,324,35,37

魚類	ゴクラクギョ科	影響度	緊急度
1217	<b>チョウセンブナ</b> <i>Macrophodus chinensis</i>	DD	C

【原産】中国～朝鮮半島 【国内分布】新潟県,愛知県,岡山県など 【県内分布】旧葛飾郡,手賀沼,印旛沼など. 近年,出現記録なく,現在生息状況不明 【形態・生態】TL7cm,水草の多い止水の浅い淡水域で生活,深みで越冬,酸素欠乏に強い,食性:水生昆虫,底生動物,環境:平野部の浅い池沼,用水路 【繁殖】♂水面に浮き巣を作り,♀を誘い産卵させ,♂が卵・稚魚を守る,場所:生息地に同じ,時期:6月～7月 【国内侵入】110:1914年頃 【県内侵入】110:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】啓発による移動や飼育個体の放流の防止 【備考】- 【文献全般】127,191,北川・細谷(2011)日本生物地理学会会報66:49-55 【文献県内】35

魚類	タイワンドジョウ科	影響度	緊急度
1218	<b>カムルチー</b> <i>Channa argus</i>	要注意外来生物(情報不足) C	C

【原産】中国北・中部,朝鮮半島 【国内分布】北海道を除く各地 【県内分布】各地に散在. 手賀沼(1945異常繁殖記録). 現在は各地にいるが多くない 【形態・生態】TL1m,単独生活,冬季:泥の中でほぼ冬眠状態.春:水温上昇とともに活発,酸素の少ない場所でも生活可能,食性:エビ類,魚類,カエル類など動物食.環境:淡水域.湖沼や緩流域-止水域,水草の繁茂場所 【繁殖】♂♀で浮き巣を作り,産卵,卵・稚魚を保護する,場所:水草の繁茂場所,時期:5月～8月 【国内侵入】110:1923～24年 【県内侵入】110:不明 【影響】112(動物食) 【緊急】- 【対策】- 【備考】大物釣りの対象魚として好まれる 【文献全般】127,191,202 【文献県内】29,35,37

魚類	タイワンドジョウ科	影響度	緊急度
1219	<b>コウタイ</b> <i>Channa asiatica</i>	要注意外来生物(情報不足) DD	C

【原産】長江以南の中国,台湾,海南島 【国内分布】石垣島,大阪府に移植 【県内分布】利根川. 大利根分館収蔵資料.未定着と推定 【形態・生態】TL30cm,上鰓器官による空気呼吸が出来る.夜行性で,昼間は水草の間などに潜む,魚類やカエル類などの動物食,環境:山間の流水域,水田地帯 【繁殖】営巣はせず,水草に粘着卵を産み付け,親魚が卵・稚魚を保護する習性がある,場所:生息域に同じ,時期:原産地では4月～6月 【国内侵入】日本の記録は全て移入による推測:不明 【県内侵入】-:1980年代前半? 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】原産地では食用および漢方薬原料 【文献全般】127,191 【文献県内】35

魚類	タイワンドジョウ科	影響度	緊急度
1220	<b>タイワンドジョウ</b> <i>Channa maculata</i>	要注意外来生物(情報不足) C	C

【原産】東南アジア 【国内分布】石垣島,和歌山県,兵庫県,香川県など 【県内分布】手賀沼で記録がある. 一時的記録で未定着 【形態・生態】TL50cm,水草の多いところを好む.他はカムルチーと同じ,食性:エビ類,魚類,カエル類など,ある程度の大きさのある動物食,環境:平野部の池沼 【繁殖】雌雄が共同で浮き巣を作り,産卵し,雌雄で卵・稚魚を保護する,場所:生活場所と同じ水草の茂るような場所,時期:5月～8月 【国内侵入】1906年に台湾から大阪府堺への移入が最初:不明 【県内侵入】不明:不明 【影響】112(動物食) 【緊急】- 【対策】- 【備考】大物釣りの対象魚,原産地では食用 【文献全般】127,191 【文献県内】35

両生類	ヒバ科	影響度	緊急度
1221	<b>アフリカツメガエル</b> <i>Xenopus laevis</i>	要注意外来生物(情報不足) A	A

【原産】アフリカ大陸南部 【国内分布】和歌山県,静岡県,千葉県で定着 【県内分布】利根川,印旛沼水系,袖ヶ浦市,成田市(定着) 【形態・生態】TL50-130mm,ほとんど水中生活,河川,湖沼から塩性湿地まで,あらゆる水域に生息.環境:淡水域 【繁殖】卵生,繁殖力が高く,定着個体が長生き 【国内侵入】110:1954年以降 【県内侵入】110:1990年代 【影響】130(ツボカビ),112(在来カエル類など水生生物) 【緊急】- 【対策】早急な駆除,効果的な捕獲方法開発,野外放逐防止,野生化集団の基礎的研究と試験的駆除 【備考】野外越冬が可能(千葉大学構内) 【文献全般】202 【文献県内】141

両生類	アカガエル科		影響度	緊急度
1222	<b>ウシガエル</b>	特定外来生物, IUCN100, 生態学会100	<b>A</b>	<b>B</b>
	<i>Rana (Aquarana) catesbeiana</i>			

【原産】北アメリカのロッキー山脈以東 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,小笠原諸島,南西諸島 【県内分布】全域. 池,ため池,湖沼,緩流河川に生息 【形態・生態】TL110-185mm,オタマジャクシ期:植物中心の雑食.変態後:動物食,環境:淡水域:沼,用水路,河川 【繁殖】卵は一週間で孵化.普通はそのまま越冬し,翌年の5~10月に変態,場所:湖沼,池,河川の下流等,広い水面かつ水深ある静水域,時期:5-9月 【国内侵入】110:1918年 【県内侵入】110:昭和初期 【影響】112,250(騒音被害) 【緊急】個体群制御手段として,商業的利用を促進 【対策】外来生物法の遵守,野生化集団の基礎的研究,駆除方法の検討 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】-

両生類	アカガエル科	国内外来生物	影響度	緊急度
1223	<b>ヌマガエル</b>		<b>B</b>	<b>B</b>
	<i>Rana (Limnodynastes) limnodynastes</i>			

【原産】日本 【国内分布】関東地方,対馬(移入) 【県内分布】東京湾岸地域,利根川,江戸川下流域,高崎川流域(2004年),県内各地で定着 【形態・生態】TL25-55mm,幼生は夏期の高水温耐性あり.乾田にも高密度で生息,在来種が激減した環境に侵入,食性:昆虫などの無脊椎動物,他種カエル幼体,環境:淡水 【繁殖】卵生,場所:水田や水たまり等の浅い止水,時期:4~7月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:-1998年 【影響】- 【緊急】駆除は不可能.新たな地域への侵入を防ぐ手だてを確立させる 【対策】個体の移動防止,野生化集団の基礎的研究と試験的駆除の実施 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】70,220

両生類	アカガエル科	国内外来生物	影響度	緊急度
1224	<b>トノサマガエル</b>	国RDB:NT	<b>C</b>	<b>A</b>
	<i>Rana (Pelophylax) nigromaculata</i>			

【原産】日本,朝鮮半島,中国 【国内分布】本州(関東地方から仙台平野,信濃川流域を除く),四国,九州,北海道(移入) 【県内分布】習志野市のみ.谷津干潟ビジターセンター内の淡水池に定着 【形態・生態】TL40-90mm,主に水田と用水路に生息,昆虫類に加え小型の両生類も捕食,環境:淡水域 【繁殖】場所:水田,池,時期:4-6月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:-1990年代 【影響】112(水生生物) 【緊急】小規模な集団であるので,早急に駆除を実現すべき 【対策】現在定着している地域からの根絶 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

爬虫類	ヌマガメ科		影響度	緊急度
1225	<b>ミシシippアカミミガメ</b>	要注意外来生物(適否検討), IUCN100, 生態学	<b>A</b>	<b>B</b>
	<i>Trachemys scripta elegans</i>			

【原産】北アメリカ東部 【国内分布】沖縄~北海道まで全国に定着 【県内分布】溪流を除くほぼ全ての水域,ため池,湖沼,緩流河川に生息.都市部に多 【形態・生態】CL♂20cm♀28cm,オスよりもメスの方が大型になり,メスはCL28cm,WT2.5kgに達する,雑食性,淡水棲 【繁殖】繁殖能力強く,産卵数1回20個以上,年数回,場所:池や沼,河川周辺の地面に穴を掘って産卵,時期:6-7月 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】またはB,C,110(雑食性),121(在来カメ類),220(大型個体の咬傷被害) 【緊急】生息範囲の把握と駆除方法の確立が先決 【対策】飼育用の販売時の配慮,野生化集団の基礎的研究と試験的駆除の実施 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】-

爬虫類	ヌマガメ科		影響度	緊急度
1226	<b>キバラガメ</b>	要注意外来生物	<b>B</b>	<b>B</b>
	<i>Trachemys scripta scripta</i>			

【原産】アメリカ南東部 【国内分布】全国各地で確認,定着は不明 【県内分布】印旛沼水系など 【形態・生態】- 【繁殖】- 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】110(雑食性),121(在来カメ類),220(大型個体の咬傷被害) 【緊急】- 【対策】情報収集,適宜発見個体回収,飼育用販売時の配慮と遺棄防止,駆除方法の検討を目指した試験的駆除の実施 【備考】今後新たに定着する可能性があり 【文献全般】359 【文献県内】-

爬虫類	イシガメ科		影響度	緊急度
1227	<b>ミナミイシガメ</b>		CITES:II	<b>B</b>
	<i>Mauremys mutica</i>			<b>B</b>

【原産】台湾,中国東部,インドシナ半島北部,八重山諸島 【国内分布】八重山諸島,京都府,大阪府,滋賀県,千葉県,沖縄諸島(移入) 【県内分布】印旛沼周辺. 高崎川中流域に定着している可能性は極めて高い 【形態・生態】CL♂♀15-18cm,雑食性,環境:淡水域 【繁殖】6個産卵(2000年捕獲個体),場所:池や沼,河川周辺に穴を掘って産卵,時期:6~7月? 【国内侵入】162:昭和初期 【県内侵入】162:1990年代? 【影響】121(在来カメ類),142(ニホンイシガメ) 【緊急】生息範囲の把握と駆除方法の確立が先決 【対策】飼育用販売時の配慮,野生化集団の基礎的研究と試験的駆除 【備考】- 【文献全般】202,358 【文献県内】140

爬虫類	イシガメ科		影響度	緊急度
1228	<b>クサガメ</b>		県RDB:情報不足, CITES:III	<b>A</b>
	<i>Mauremys reevesii</i>			<b>A</b>

【原産】中国南部,朝鮮半島 【国内分布】本州,四国,九州とその周辺の属島 【県内分布】全域. 各地の池沼,河川 【形態・生態】CL18-23cm,冬期は河川や池沼で冬眠,水生昆虫,甲殻類,水生植物など雑食性 【繁殖】池沼,河川,水田周辺,5-7月,卵生,産卵数は4~10個/回,1シーズンで1~3回 【国内侵入】162:江戸時代後期 【県内侵入】162(中国及び関西から):- 【影響】120(ニホンイシガメ),142(ニホンイシガメ) 【緊急】ニホンイシガメ生息地以外はB 【対策】ニホンイシガメ生息地からの排除は早急に行うべき,飼育用の販売時の配慮と遺棄防止の普及 【備考】- 【文献全般】77,306,348 【文献県内】-

爬虫類	イシガメ科		影響度	緊急度
1229	<b>ハナガメ</b>		要注意外来生物, CITES:III	<b>B</b>
	<i>Mauremys sinensis</i>			<b>B</b>

【原産】中国南部,台湾,ベトナム北部 【国内分布】全国各地で確認 【県内分布】県北部の数カ所. 社寺や公園の池で確認されているが定着は不明 【形態・生態】CL18-25cm,池沼や流れの緩やかな河川に生息,雑食性 【繁殖】陸地,卵生,1回に5~20個,4~6月の記録有り 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】120(在来ガメ),142(ニホンイシガメ),113(水生植物) 【緊急】- 【対策】飼育用の販売時の配慮と遺棄防止の普及,野生化した集団の生態に関する基礎的研究と、駆除方法の検討を旨とした試験的駆除の実施 【備考】今後新たに定着する可能性があり 【文献全般】359 【文献県内】-

爬虫類	カミツキガメ科		影響度	緊急度
1230	<b>カミツキガメ</b>		特定外来生物, 生態学会100	<b>A</b>
	<i>Chelydra serpentina</i>			<b>A</b>

【原産】カナダ南部~アメリカ合衆国,中部アメリカを経てエクアドル 【国内分布】千葉県で定着 【県内分布】高崎川,鹿島川,印旛沼. 繁殖・定着している 【形態・生態】CL45cm↑,BW30kg↑,長寿命で飢餓耐性強,肉食性(水生植物も).環境:淡水域 【繁殖】卵生,産卵数:20-50個,場所:河川堤防や水田畔,時期:6月 【国内侵入】162:1970年代? 【県内侵入】162:1978年(最古) 【影響】112(水生生物),220(農作業中に咬傷被害) 【緊急】定着個体群の総個体数・分布が限られているうちに駆除 【対策】外来生物法の遵守 【備考】捕食者が存在しない場合、個体群増加率が原産地よりも高くなる可能性有 【文献全般】202 【文献県内】-

爬虫類	カミツキガメ科		影響度	緊急度
1231	<b>ワニガメ</b>		要注意外来生物(情報不足), CITES:III	<b>B</b>
	<i>Macrochelys temminckii</i>			<b>B</b>

【原産】アメリカ南部 【国内分布】各地で確認,繁殖は不明 【県内分布】佐倉市,印西市など. 公園の池以外に河川でも生息確認,繁殖不明 【形態・生態】CL50-70cm,BWmax113kg,寿命58才(飼育記録),肉食性,ルーアリングを行い魚・甲殻類食 【繁殖】河川,湖沼周辺の陸地,4~6月(フロリダ),卵生,一腹卵数は8~52個 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】112(水生生物),340(魚類,甲殻類捕食,漁具破壊?),220 【緊急】- 【対策】遺棄防止の普及,野生化した集団の生態に関する基礎的研究と、駆除方法の検討を旨とした試験的駆除の実施,情報収集と適宜回収 【備考】今後新たに定着する可能性有 【文献全般】359 【文献県内】-

鳥類	ペリカン科		影響度	緊急度
1232	<b>モモイロペリカン</b>		D	C
	<i>Pelecanus onocrotalus</i>			

【原産】アフリカ,アジア 【国内分布】全国各地 【県内分布】印旛沼 【形態・生態】TL148-175cm,WS226-360cm,BW♂9-15kg ♀5.4-9kg,環境:湿地,河川,湖沼 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166 【文献県内】

鳥類	フラミンゴ科		影響度	緊急度
1233	<b>オオフラミンゴ</b>		DD	C
	<i>Phoenicopterus ruber</i>	CITES-II		

【原産】アフリカ,南ヨーロッパ,アジア,南アメリカ 【国内分布】- 【県内分布】銚子市(1例) 【形態・生態】TL120-145cm,食性:甲殻類,軟体類,水生昆虫,藻類,種子 【繁殖】群性が強い,泥沼の浅瀬などで,コロニーを形成し繁殖する 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】254,371 【文献県内】

鳥類	カモ科		影響度	緊急度
1234	<b>エジプトガン</b>		DD	C
	<i>Alopochen aegyptiacus</i>			

【原産】アフリカ東部,アフリカ中部,アフリカ南部 【国内分布】- 【県内分布】本埜村(現 印西市) 印旛沼北部. 調整池堤防内側水面1例のみ,2009年10月 1羽 上記の場所でカルガモ,アオサギなどと共に休息 【形態・生態】TL63-73cm,留鳥,環境:湿地,池,湖沼,植物食(種子,穀類,水草) 【繁殖】水辺の草地 【国内侵入】162:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】164,370 【文献県内】

鳥類	カモ科		影響度	緊急度
1235	<b>アヒル</b>		B	B
	<i>Anas platyrhynchos var. domesticus</i>			

【原産】中国北東部-ロシア(原産地) 【国内分布】全国各地 【県内分布】県内各地. 湿地で少数が見られる 【形態・生態】TL50-60cm,WS81-95cm,BW0.8-1.6kg(マガモ),環境公園,湿地,池,湖沼 【繁殖】繁殖場所:地上営巣,生息域の湿地帯,繁殖場所:地上営巣,生息域の湿地帯 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】マガモ *Anas platyrhynchos* が家禽化された 【文献全般】166 【文献県内】

鳥類	カモ科		影響度	緊急度
1236	<b>シナガチョウ</b>		DD	C
	<i>Anser cygnoides var. orientalis</i>			

【原産】東アジア,モンゴル,中国北東部,シベリア(原産地) 【国内分布】全国各地 【県内分布】県内各地. 越冬期,国内には,ごく稀に飛来する(原種) 【形態・生態】TL81-94cm,WS165-185cm,BW2.85-3.5kg,環境:越冬期:湿地に生息(原種),公園,湖沼,河川 【繁殖】繁殖場所:湿原,草原で繁殖 【国内侵入】162:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】サカツラガン *Anser cygnoides* が家禽化された 【文献全般】166 【文献県内】

鳥類	カモ科	影響度	緊急度
1237	<b>インドガン</b> <i>Anser indicus</i>	DD	C

【原産】中央アジア,中国北東部,チベット,モンゴル 【国内分布】千葉,長野,父島,多良間島 【県内分布】新浜 【形態・生態】TL71-76cm,WS140-160cm,BW2-3kg,環境:淡水湖,湖沼,河川 【繁殖】場所:中央アジアの高地で繁殖する. 繁殖終了後、ヒマラヤから北インドを渡り、ミャンマーなどへ移動する 【国内侵入】:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166 【文献県内】290

鳥類	カモ科	影響度	緊急度
1238	<b>シジュウカラガン</b> <i>Branta canadensis</i>	要注意外来生物(情報不足), 国RDB:CR, D	C

【原産】北アメリカ(ロッキー山脈以西) 【国内分布】本州,北海道 【県内分布】手賀沼 【形態・生態】TL55-110cm,環境:湿地,沼地,湖沼,草むら,凍原,公園 【繁殖】大型の亜種の1巣卵数は約6卵 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】*Branta canadensis mmoffitti* オオカナダガンが各地で野外飼育されている 【文献全般】166 【文献県内】

鳥類	カモ科	影響度	緊急度
1239	<b>バリケン</b> <i>Cairina moschata</i>	DD	C

【原産】中央アメリカ,南アメリカ(原産地) 【国内分布】全国各地 【県内分布】手賀沼 【形態・生態】TL66-84cm,WS120cm(原種) BW2.2-4.5kg,環境:池,雑食性 【繁殖】一夫多妻制,樹洞などに営巣 【国内侵入】110(食用):- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】ノバリケン *Cairina moschata*,Muscovy Duck が家禽化された 【文献全般】370 【文献県内】

鳥類	カモ科	影響度	緊急度
1240	<b>コクチョウ</b> <i>Cygnus atratus</i>	DD	C

【原産】オーストラリア 【国内分布】北海道,岩手,宮城,福島,茨城,栃木,群馬,千葉,東京,神奈川,宮崎 【県内分布】銚子市,幕張,手賀沼 【形態・生態】TL110-140 cm,WS160-200cm,BW3.7-8.75kg,環境:湖沼,河川 【繁殖】- 【国内侵入】110(食用),162:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166 【文献県内】

鳥類	カモ科	影響度	緊急度
1241	<b>コブハクチョウ</b> <i>Cygnus olor</i>	D	C

【原産】ヨーロッパ北部,中央アジア,北アメリカなど 【国内分布】全国各地 【県内分布】利根川水系. 全体から見て北海道,本州の中央と西に個体数が定期的に移動 【形態・生態】TL125-160cm,WS200-240cm,BW6.6-16kg,季節移動する,環境:湖沼,河川 【繁殖】繁殖場所:湿地,水辺 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】季節移動する 【文献全般】166 【文献県内】

鳥類	タカ科	影響度	緊急度
1242	<b>ミミダハゲワシ</b> <i>Torgos tracheliotos</i>	DD	C

【原産】アフリカ中部ーアフリカ南部 【国内分布】- 【県内分布】八千代市(1例) 【形態・生態】TL103cm,WS258-266cm,環境:乾いた草地,灌木,原野,砂漠,腐肉食 【繁殖】繁殖期:地域により異なる(原産地).地上3-15mの木の頂きで営巣.,1巣1卵.雌雄が抱卵する 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】164,251,17 【文献県内】

鳥類	ハヤブサ科	影響度	緊急度
1243	<b>カラカラ</b> <i>Polyborus plancus</i>	DD	C

【原産】北アメリカ,中央アメリカ,南アメリカ 【国内分布】- 【県内分布】銚子市(1例) 【形態・生態】TL58cm,環境:草原,草地,腐肉食,動物の死体,昆虫,小動物 【繁殖】繁殖期:1-2月.1巣2-3卵 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】371,364 【文献県内】

鳥類	キジ科	影響度	緊急度
1244	<b>コジュケイ</b> <i>Bambusicala thoracica</i>	D	C

【原産】中国南部 【国内分布】本州,佐渡,四国,九州,伊豆諸島,硫黄島 【県内分布】千葉市,銚子市,船橋市,一宮川河口,印旛沼,勝浦市,九十九里湿地,幕張,小櫃川河口,新浜,手賀沼. 広範囲に生息 【形態・生態】留鳥,環境:平地から低山の林,林縁,藪 【繁殖】繁殖期に一夫多妻制で小群を形成,時期:4-6月,一度に7-8個の卵を産卵 【国内侵入】150:- 【県内侵入】150:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】62,153 【文献県内】37

鳥類	キジ科	影響度	緊急度
1245	<b>コリンウズラ</b> <i>Colinus virginianus</i>	DD	C

要注意外来生物(情報不足)

【原産】アメリカ中東部,メキシコ 【国内分布】神奈川県,大阪府 【県内分布】手賀沼,長生村. 飼育や実験用,狩猟目的に輸入 【形態・生態】TL20-25cm,BW130-170g,昆虫類(繁殖期)種子,穀類 【繁殖】繁殖期:4-6月,繁殖場所:地上営巣,一腹卵数10-15個,繁殖場所:地面の窪みに枯れ草を敷いて巣をつくる 【国内侵入】150(猟犬の訓練用):- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】過去の放鳥の情報収集,および現在の分布・個体数を把握,輸入・繁殖・放鳥を慎む 【備考】- 【文献全般】291,153 【文献県内】

鳥類	キジ科	影響度	緊急度
1246	<b>ニワトリ</b> <i>Gallus gallus var. domesticus</i>	DD	C

【原産】東南アジア(原産地) 【国内分布】全国各地 【県内分布】県内各地 【形態・生態】TL20-90cm,環境:農村,里山,灌木林,社寺林 【繁殖】- 【国内侵入】162(食用):- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】原種:セキシヨクヤケイ 【文献全般】254 【文献県内】

鳥類	キジ科		影響度	緊急度
1247	<b>コウライキジ</b>	生態学会100	<b>B</b>	<b>B</b>
	<i>Phasianus colchicus karpowi</i>			

【原産】中国東北部,朝鮮半島 【国内分布】北海道,長崎県対馬 【県内分布】千葉市 【形態・生態】TL♂80cm,♀50cm,環境:灌木林,農耕地,草原,雑食性 【繁殖】繁殖期:5-6月,6-10個産卵 【国内侵入】163:江戸時代後期(対馬) 【県内侵入】163:- 【影響】142(キジ) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】371,153,147 【文献県内】

鳥類	ホロホロチョウ科		影響度	緊急度
1248	<b>ホロホロチョウ</b>		<b>DD</b>	<b>C</b>
	<i>Numida meleagris</i>			

【原産】アフリカ中部-アフリカ南部(サハラ以南) 【国内分布】- 【県内分布】栄町酒直印旛沼北部水田, 2010年8月31日1羽 【形態・生態】- 【繁殖】繁殖期:雨期(原産地),地上営巣性,1巣8-12卵 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】

鳥類	ツル科		影響度	緊急度
1249	<b>カムリヅル</b>		<b>DD</b>	<b>C</b>
	<i>Balearica pavonina</i>			

【原産】アフリカ中部-アフリカ南部(サハラ以南) 【国内分布】- 【県内分布】栄町酒直印旛沼北部水田2010年8月31日1羽 【形態・生態】- 【繁殖】繁殖期:雨期(原産地),地上営巣性,1巣8-12卵 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】

鳥類	ツル科		影響度	緊急度
1250	<b>ホオジロカムリヅル</b>		<b>DD</b>	<b>C</b>
	<i>Balearica regulorum</i>			

【原産】アフリカ中部 【国内分布】- 【県内分布】手賀沼1980年8月12日,我孫子市利根耕地1980年8月13日 【形態・生態】TL約96cm,繁殖期である雨季以外は50~100羽の群れを形成,環境:草原,湿原,雑食性 【繁殖】一腹卵数:2~3個(主に3個),場所:地上営巣,湿地に営巣,繁殖期:7-9月(ナイジェリア),9-11月(スーダン) 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】1,371,185,153 【文献県内】

鳥類	クイナ科		影響度	緊急度
1251	<b>セイケイ</b>		<b>DD</b>	<b>C</b>
	<i>Porphyrio porphyrio</i>			

【原産】ウガンダ,ケニア,モザンビーク北部 【国内分布】全国各地 【県内分布】手賀沼,九十九里 【形態・生態】TL約96cm,地方によっては樹上で眠る,環境:草原,湿原,雑食性 【繁殖】場所:低い樹上に営巣した例もある,時期:繁殖期は12月-5月(南アフリカ) 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】185,153 【文献県内】



鳥類	ハト科	影響度	緊急度
1252	<b>カワラバト</b> <i>Columba livia</i> var. <i>domestica</i>	C	B
【原産】南ヨーロッパ, アフリカ, 東南アジア, インド, オーストラリア, ニュージーランド 【国内分布】- 【県内分布】手賀沼 【形態・生態】TL38-50cm, WS90-100cm, 環境: 淡水湖, 汽水湖, 沼, 湿地, 湖沼, 雑食性だが、主に植物食 【繁殖】繁殖場所: 1年中繁殖記録が有る, 繁殖期は生息地により多様 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166, 153 【文献県内】			

鳥類	ハト科	影響度	緊急度
1253	<b>ウスユキバト</b> <i>Geopelia cuneata</i>	DD	C
【原産】アフリカ北部, 地中海沿岸, 中近東, 中央アジア(原産地) 【国内分布】全国各地 【県内分布】県内各地広範囲に生息 【形態・生態】TL29-35cm, WS60-71cm, BW180-355g, 公園, 寺社等各地で餌付けされている, 環境: 山の岩場, 断崖, 沿岸の崖地(原種), 街中, 公園, 農村地域など人間が生活している環境 【繁殖】繁殖期; 2-10月, 温暖な地域では冬期でも卵・雛が観察される, 1巣2卵 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】別名: ドバト 【文献全般】166, 69 【文献県内】			

鳥類	ハト科	影響度	緊急度
1254	<b>ジュズカケバト</b> <i>Streptopelia risoria</i>	DD	C
【原産】オーストラリア北部, 内陸部 【国内分布】- 【県内分布】幕張 【形態・生態】TL19-20cm, 環境: 森林, 低木林, 開けた地域, 種子, 穀物など主に植物食 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】41, 251 【文献県内】			

鳥類	オウム科	影響度	緊急度
1255	<b>アカオクロオウム</b> <i>Calyptrorhynchus magnificus</i>	DD	C
【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】松戸市1994年1羽, 千葉市1996年1羽 【形態・生態】TL25-30cm 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 1994年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】バライロシラコバト <i>Streptopelia roseogrisea</i> が家禽化された種と考えられている 【文献全般】327 【文献県内】			

鳥類	オウム科	影響度	緊急度
1256	<b>オカメインコ</b> <i>Nymphicus hollandicus</i>	DD	C
【原産】オーストラリア北部, オーストラリア西部 【国内分布】- 【県内分布】千葉市(千葉県立中央博物館周辺) 【形態・生態】TL59-66cm, 環境: 森林, 草地, 灌木林 【繁殖】樹洞に営巣し、1卵を産む 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】17 【文献県内】			

鳥類	インコ科	影響度	緊急度
1257	<b>コザクラインコ</b> <i>Agapornis roseicollis</i>	DD	C

【原産】オーストラリア 【国内分布】- 【県内分布】千葉市(千葉県立中央博物館周辺) 【形態・生態】TL32cm,環境:開けた地域,低木林,水場がある地域に多い 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】371 【文献県内】

鳥類	インコ科	影響度	緊急度
1258	<b>アオボウシインコ</b> <i>Amazona aestiva</i>	DD	C

【原産】アフリカ南西部 【国内分布】- 【県内分布】千葉市(千葉県立中央博物館周辺) 【形態・生態】WS♂101-107mm,♀99-106mm,BW♂♀46-63g,環境:乾燥地帯の開けた地域,食性:アカシアの種やアルビジアなどマメ科の種子,小さな穀類,作物,ヒマワリ,トウダイグサ属の花の芽や葉 【繁殖】コロニーで営巣 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】164,251 【文献県内】

鳥類	インコ科	影響度	緊急度
1259	<b>セキセイインコ</b> <i>Melopsittacus undulatus</i>	DD	C

【原産】ブラジル,パラグアイ,アルゼンチン 【国内分布】- 【県内分布】富津市富津岬 【形態・生態】TL37cm,環境:森林,河辺林,ヤシ林その他の疎林 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】17 【文献県内】

鳥類	インコ科	影響度	緊急度
1260	<b>ホンセイインコ</b> <i>Psittacula krameri</i>	B	A

【原産】オーストラリア 【国内分布】全国各地 【県内分布】千葉市(県立中央博周辺),銚子市,船橋市,印旛沼,幕張,三番瀬,新浜,手賀沼. 一般的な飼鳥として生息. 【形態・生態】TL18cm,WS30cm,BW26-29g,環境:草地,灌木林,農耕地,草原(原産地),農村,河川敷,里山 【繁殖】年2回繁殖.小さな樹洞に営巣 【国内侵入】広範囲にわたって飼鳥として取引された:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,251 【文献県内】

鳥類	ヒヨドリ科	影響度	緊急度
1261	<b>コウラウン</b> <i>Pycnonotus jocosus</i>	DD	C

【原産】アフリカ,インド 【国内分布】東京 【県内分布】千葉市(県立中央博周辺),銚子市 【形態・生態】TL♂39-42cm,♀27-36cm,WS42-48cm,BW95-143g,冬期群れを形成,環境:落葉樹林,農耕地,プランテーション(原産地),公園,住宅地など,食性:穀物,果実,子房など 【繁殖】樹洞に営巣する 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,251 【文献県内】

鳥類	チメドリ科		影響度	緊急度
1262	<b>ガビチョウ</b>	特定外来生物, 生態学会100	B	A
	<i>Garrulax canorus</i>			

【原産】インド, 東南アジア 【国内分布】本州 【県内分布】手賀沼. 脱走し, 野生化したものが日本の中央部に生息 【形態・生態】TL18-20.5cm, BW25-31g, 環境: 農村地域, 郊外の公園, 庭, 二次林, 雑食性 【繁殖】時期: 1-8月(原産地), 1回につき2-4個産卵 【国内侵入】:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,147 【文献県内】

鳥類	チメドリ科		影響度	緊急度
1263	<b>カオジロガビチョウ</b>	特定外来生物	B	A
	<i>Garrulax perspicillatus</i>			

【原産】中国, 台湾, 東南アジア 【国内分布】本州(関東, 中部)~九州 【県内分布】成田市, 富里市, 市原市 【形態・生態】TL21-25cm, 環境: 低地から低山の森林, 竹林, 草木が密集した場所, 山腹 【繁殖】繁殖期: 5-7月, 藪や木に葉や草でお椀型の巣を作り2-5個産卵 【国内侵入】162:- 【県内侵入】:- 2006年 【影響】- 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】2006.10.17-18成田市~富里市 【文献全般】166,291 【文献県内】

鳥類	ヒタキ科		影響度	緊急度
1264	<b>ソウシチョウ</b>	特定外来生物, 生態学会100	B	A
	<i>Leiothrix lutea</i>			

【原産】中国南部, インド 【国内分布】群馬県, 栃木県, 茨城県 【県内分布】利根川沿い. 野田市 【形態・生態】TL22-24cm, 環境: 街の公園, 農村地域, 草や竹の密集している場所, 庭先, 広葉樹林, 雑食性 【繁殖】繁殖期: 2-8月. 藪や下生えに営巣し1巣3-4卵 【国内侵入】162:- 【県内侵入】400: 2012年 【影響】- 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】- 【文献全般】166,291 【文献県内】

鳥類	ホオジロ科		影響度	緊急度
1265	<b>コウカンチョウ</b>		DD	C
	<i>Paroaria coronata</i>			

【原産】中国中部-南部, ベトナム北部 【国内分布】本州中部, 九州, 四国 【県内分布】銚子市, 船橋市 【形態・生態】TL13-16cm, 非繁殖期は小群を形成, 環境: 森林, 低木林 【繁殖】時期: 5-9月 【国内侵入】164:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守 【備考】- 【文献全般】166,291 【文献県内】

鳥類	アトリ科		影響度	緊急度
1266	<b>カナリア</b>		DD	C
	<i>Serinus canaria</i>			

【原産】ブラジル-アルゼンチン 【国内分布】本州中部 【県内分布】手賀沼, 船橋 【形態・生態】TL18-19cm, 環境: 低木林, 藪, 灌木林, 公園, 食性: 種子, 昆虫 【繁殖】- 【国内侵入】162:- 【県内侵入】:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,147,251 【文献県内】

鳥類	アトリ科	影響度	緊急度
1267	<b>キマユカナリア</b> <i>Serinus mozambicus</i>	DD	C

【原産】カナリア諸島(北大西洋上の島嶼) 【国内分布】- 【県内分布】千葉市(県立中央博周辺) 【形態・生態】TL13cm 【繁殖】- 【国内侵入】-:江戸時代中頃 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】371 【文献県内】

鳥類	カエデチヨウ科	影響度	緊急度
1268	<b>ペニスズメ</b> <i>Amandava amandava</i>	DD	C

【原産】アフリカ中部-アフリカ南部 【国内分布】- 【県内分布】銚子市,富津市 【形態・生態】TL11-13cm,環境:サバンナ,農地,人家周辺,森縁 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166 【文献県内】

鳥類	カエデチヨウ科	影響度	緊急度
1269	<b>カエデチヨウ</b> <i>Estrilda troglodytes</i>	DD	C

【原産】サハラ砂漠南縁,セネガル,ガンビア,エチオピア,マリ,ガーナ 【国内分布】本州中部 【県内分布】手賀沼 【形態・生態】TL10cm,BW7-8g,環境:湿地,河川敷,灌木林,草原 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,147 【文献県内】

鳥類	カエデチヨウ科	影響度	緊急度
1270	<b>キンパラ</b> <i>Lonchura atricapilla</i>	DD	C

【原産】インド北東部,東南アジア,中国南部,スマトラ,ボルネオ 【国内分布】- 【県内分布】一宮川河口,印旛沼,幕張 【形態・生態】TL11-12.5cm,環境:ヨシ原,農耕地,草地 【繁殖】- 【国内侵入】-:江戸時代 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】頭部・上胸・腹中央・下尾筒は黒,体上面は赤褐色,胸・腹・脇が茶色 【文献全般】62,147 【文献県内】

鳥類	カエデチヨウ科	影響度	緊急度
1271	<b>ヘキチヨウ</b> <i>Lonchura maja</i>	DD	C

【原産】東南アジア,ジャワ,バリ 【国内分布】本州,四国 【県内分布】印旛沼 【形態・生態】TL12cm留鳥,環境:休耕地,ヨシ原 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,147 【文献県内】

鳥類	カエデチヨウ科	影響度	緊急度
1272	<b>ギンバラ</b> <i>Lonchura malacca</i>	DD	C

【原産】インド南部,スリランカ 【国内分布】沖縄 【県内分布】印旛沼,新浜,手賀沼 【形態・生態】TL11-12.5cm,環境:藪,草地,水田,ヨシ原 【繁殖】- 【国内侵入】-: 【昭和時代初め】 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】頭部・上胸・腹中央・下尾筒は黒,体上面は赤褐色,胸・腹・脇が白い 【文献全般】166,147 【文献県内】

鳥類	カエデチヨウ科	影響度	緊急度
1273	<b>シマキンバラ</b> <i>Lonchura punctulata</i>	DD	C

【原産】東南アジア,中国南東部,台湾,インド 【国内分布】南西諸島 【県内分布】銚子市 【形態・生態】TL10-12cm,環境:農耕地,草地 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,147 【文献県内】

鳥類	カエデチヨウ科	影響度	緊急度
1274	<b>ジュウシマツ</b> <i>Lonchura striata var. domestica</i>	DD	C

【原産】南・東南アジア,中国南部,中国東部,台湾(原産地) 【国内分布】南西諸島 【県内分布】- 【形態・生態】TL10-11cm,留鳥,環境:乾燥した草地,林縁,プランテーション,庭,藪,森のはずれ 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】コシジロキンバラ *Lonchura striata* が家禽化された 【文献全般】166,147 【文献県内】

鳥類	カエデチヨウ科	影響度	緊急度
1275	<b>ブンチョウ</b> <i>Padda oryzivora</i>	DD	C

【原産】ジャワ島,バリ島 【国内分布】本州,九州 【県内分布】銚子市,印旛沼,新浜,手賀沼 【形態・生態】TL約17cm,雌雄同色,環境:草原,農耕地,灌木林.非繁殖期には群を作る.食性:種子 【繁殖】繁殖期;6-7月,12月(原産地).1巣3-5卵 【国内侵入】162:江戸時代初期から輸入 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】1,371,147 【文献県内】

鳥類	ハタオリドリ科	影響度	緊急度
1276	<b>オウゴンチョウ</b> <i>Euplectes afer</i>	DD	C

【原産】アフリカ中部および南部 【国内分布】愛知県田原町(1999年8月14日)など 【県内分布】富津市富津岬 【形態・生態】TL13cm,環境:草地,農耕地,灌木林 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】62 【文献県内】

鳥類	ハタオリドリ科	影響度	緊急度
1277	<b>アカエリホウオウ</b>	DD	C
	<i>Euplectes ardens</i>		

【原産】アフリカ中部,アフリカ南部 【国内分布】- 【県内分布】手賀沼 【形態・生態】TL♂生殖羽28-38cm,♀12-13cm,BW♂20-26g,♀16-22g,環境:サバンナ,高地の草原,種子,果実,果汁,昆虫など 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】164 【文献県内】

鳥類	ハタオリドリ科	影響度	緊急度
1278	<b>キンランチョウ</b>	DD	C
	<i>Euplectes orix</i>		

【原産】アフリカ中部-アフリカ南部 【国内分布】- 【県内分布】一宮川河口(1例),幕張,小櫃川河口,新浜 【形態・生態】TL13-14cm,環境:ヨシ原,農耕地,草原 【繁殖】繁殖期:生息範囲が広いためほぼ通年繁殖記録がある(原産地).1巣3卵 【国内侵入】飼育個体が逸出し野生下で繁殖:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】かつては、キタキンランチョウ*Euplectes franciscanus*との区別がされていなかった 【文献全般】62,147 【文献県内】

鳥類	ハタオリドリ科	影響度	緊急度
1279	<b>アラビアコガネスズメ</b>	D	C
	<i>Passer euchlorus</i>		

【原産】サウジアラビア,イエメン,エチオピア 【国内分布】- 【県内分布】千葉大学構内(1989) 【形態・生態】TL13cm,環境:乾燥した地域,サバンナ 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】コガネスズメ(*Passer luteus*)の亜種に分類されることもある 【文献全般】- 【文献県内】

鳥類	ハタオリドリ科	影響度	緊急度
1280	<b>テンニンチョウ</b>	DD	C
	<i>Vidua macroura</i>		

【原産】アフリカ中部-アフリカ南部(サバンナ) 【国内分布】東京,神奈川,奈良,京都,大阪,兵庫 【県内分布】千葉市(県立中央博周辺),銚子市,一宮川河口,新浜,手賀沼 【形態・生態】TL11-12cm,♂繁殖期30-32cm,環境:草地,河原,埋立地,農耕地,小群で行動するが、非繁殖期には大群になることがある 【繁殖】時期:雨期(原産地).1回につき3-4卵.カエデチョウ科などの近縁の種に托卵する,ヒナは仮親に育てられる 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】62,371 【文献県内】

鳥類	ハタオリドリ科	影響度	緊急度
1281	<b>ホウオウジャク</b>	DD	C
	<i>Vidua paradisaea</i>		

【原産】アフリカ中部-アフリカ南部(エチオピア,スーダン,ソマリア,ケニア) 【国内分布】本州中部 【県内分布】長生村2005年11月14日 【形態・生態】TL13-14cm,繁殖期♂36-39cm,BW18-24g,環境:水田,埋立地,小群で行動することが多いが、非繁殖期には他種とともに大群を形成することがある.食性:種子,昆虫 【繁殖】繁殖期:通年,宿種の繁殖期(原産地).1回につき1-4個産卵.一夫多妻で托卵性 【国内侵入】162:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,147 【文献県内】

鳥類	ムクドリ科	影響度	緊急度
1282	<b>ハッカチヨウ</b> <i>Acridotheres cristatellus</i>	DD	C

【原産】中国南部,台湾,東南アジア 【国内分布】本州中部,四国 【県内分布】小櫃川河口周辺 【形態・生態】TL26-28cm, BW113g,.群れで行動し集団ねぐらをとる.環境:草地,河原,埋立地,農耕地,河川敷,住宅地.食性:昆虫,果実,種子など 【繁殖】樹木の樹洞,壁,屋根などの隙間に営巣 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】62 【文献県内】

鳥類	ムクドリ科	影響度	緊急度
1283	<b>セイキムクドリ</b> <i>Lamprotornis chalybaeus</i>	DD	C

【原産】アフリカ中部・南東部 【国内分布】- 【県内分布】銚子市 【形態・生態】TL♂21-23cm,昆虫など 【繁殖】卵は4-8個,抱卵期間:14日間 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】164 【文献県内】

鳥類	カラス科	影響度	緊急度
1284	<b>ヤマムスメ</b> <i>Urocissa caerulea</i>	DD	C

【原産】台湾 【国内分布】本州南西部 【県内分布】銚子市 【形態・生態】TL64-69cm,環境:二次林,森のはずれ,農耕地,住宅地 【繁殖】樹上に営巣し3-8卵を産む.繁殖の手伝いをするヘルパーが知られている 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】166,147 【文献県内】

鳥類	カラス科	影響度	緊急度
1285	<b>サンジャク</b> <i>Urocissa erythorhyncha</i>	DD	C

【原産】インド,ネパール,東南アジア,東アジア 【国内分布】- 【県内分布】銚子市 【形態・生態】TL65-68cm,環境:落葉樹林,二次林,竹林,藪,広葉樹林.食性:昆虫,果実,腐肉など雑食性 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】アメリカ北東部地方にも移入されている 【文献全般】166,147 【文献県内】

哺乳類	オナガザル科	影響度	緊急度
1286	<b>アカゲザル</b> <i>Macaca mulatta</i>	特定外来生物 A	A

【原産】インド,中国,ベトナム,アフガニスタンなど南~南西部アジア 【国内分布】千葉県 【県内分布】館山市,南房総市南部ほか. 生息数・分布が増加拡大中. 4群以上 【形態・生態】BW5-8kg,HBL47-64cm,TLL19-30cm,昼行性.数10-100頭以上の群れ形成,食性:植物の果実や葉,環境:森林 【繁殖】隔年1産1子,3-7月頃出産,♀性成熟3.5-5.5歳↑,BW4kg↑で出産可能 【国内侵入】140:- 【県内侵入】140:1995年以前 【影響】142(ニホンザル),310 【緊急】ニホンザルとの交雑が進行中のため,危機的状況 【対策】全頭捕獲,食害の技術的防除,外来生物法の遵守,外来生物問題の普及啓発,実態調査 【備考】- 【文献全般】45 【文献県内】18,22,66,65,123

哺乳類	ウサギ科		影響度	緊急度
1287	<b>カイウサギ</b>	IUCN100, 生態学会100	C	C
	<i>Oryctolagus cuniculus</i>			

【原産】- 【国内分布】日本各地(主に島嶼) 【県内分布】鋸南町浮島. 調査未実施 【形態・生態】BW1.4-2.3kg,HBL38-50cm, TL4-7cm,森林や草地に生息する. 巣穴を掘って群れで暮らす,植食性(植物の葉,枝,樹皮など),環境:陸域:森林,草地 【繁殖】地面に穴を掘り,出産数:4-6,場所:森林,草地,時期:年に数回 【国内侵入】162:19世紀ころ 【県内侵入】162:1980年代 【影響】113(在来植物) 【緊急】- 【対策】島外への持出防止,飼育管理の強化,外来生物問題の普及啓発,実態調査 【備考】ヨーロッパアナウサギの家畜種 【文献全般】202,307 【文献県内】307,37

哺乳類	リス科		影響度	緊急度
1288	<b>オグロプレーリードッグ</b>		C	C
	<i>Cynomys ludovicianus</i>			

【原産】北アメリカ 【国内分布】繁殖・定着は確認されていない 【県内分布】繁殖・定着は未確認. 2000~2001年の約1年間,野田市にあるゴルフ場に1頭が生息 【形態・生態】BW0.9-1.5kg,HBL28-35cm,TLL8-11cm,草地に巣穴を掘り,社会的集団で暮らす,植食性(主に草),環境:陸域:草地 【繁殖】繁殖場所:草地の巣穴 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:2000年 【影響】230(腺ペスト等の伝播の危険性) 【緊急】- 【対策】飼育管理の強化,外来生物問題の普及啓発 【備考】これまで1頭の生息が確認されたのみ,繁殖・定着情報は得られていない 【文献全般】307 【文献県内】329

哺乳類	ネズミ科		影響度	緊急度
1289	<b>ハツカネズミ</b>	IUCN100	B	B
	<i>Mus musculus</i>			

【原産】不明 【国内分布】日本各地 【県内分布】全域 【形態・生態】BW9-23g,HBL57-91mm,TLL42-80mm,雑食性(種実類が多い),環境:陸域:住宅地,農耕地,草地,家屋 【繁殖】出産数:平均5~6,場所:人家内,草地など,時期:年に数回 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250:- 【影響】112(在来生物),200(食品食害,様々なものを齧る)250(糞尿被害) 【緊急】- 【対策】捕獲駆除 【備考】史前帰化の可能性もあり 【文献全般】宇田川(1974),347 【文献県内】35,37

哺乳類	ネズミ科		影響度	緊急度
1290	<b>マスカラット</b>	特定外来生物	C	C
	<i>Ondatra zibethicus</i>			

【原産】北アメリカ 【国内分布】千葉県,東京都,埼玉県 【県内分布】千葉県行徳野鳥観察舎(市川市)周辺. 不明 【形態・生態】BW0.5-1.5kg,HBL23-32cm,TLL18-29cm,土手に巣穴を形,主に水生植物,環境:陸域:湖沼,湿地,河川 【繁殖】出産数:4~8,場所:水辺の土手の巣穴,時期:不明 【国内侵入】110:太平洋戦争終戦前後頃 【県内侵入】110:太平洋戦争終戦前後頃 【影響】112(在来生物),310(かつてはハスの食害) 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守,外来生物問題の普及啓発,実態調査 【備考】- 【文献全般】259,307 【文献県内】219,307,35,37

哺乳類	ネズミ科		影響度	緊急度
1291	<b>ドブネズミ</b>		B	B
	<i>Rattus norvegicus</i>			

【原産】中央アジア? 【国内分布】日本各地 【県内分布】全域 【形態・生態】BW150-500g,HBL18-26cm,TLL15-22cm,雑食性(動物質が多い),環境:陸域:都市部,住宅地など(下水道,地下街等比較的湿った場所) 【繁殖】出産数1~18(平均8~9),場所:土中(植え込みなど),建築物内,時期:年に数回 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250:- 【影響】112(在来生物),200(食品食害,様々なものを齧る)250(糞尿被害) 【緊急】- 【対策】捕獲駆除 【備考】史前帰化の可能性もあり 【文献全般】335,347 【文献県内】35,37



哺乳類	ネズミ科		影響度	緊急度
1292	<b>クマネズミ</b>	IUCN100	<b>B</b>	<b>B</b>
	<i>Rattus rattus</i>			

【原産】東南アジア? 【国内分布】日本各地 【県内分布】全域 【形態・生態】BW150-200g, HBL15-24cm, TLL15-26cm, ビルや天井裏など比較的乾燥した高所. 木登りが得意, 雑食性(種実類が多い), 環境: 陸域: 都市部, 住宅地など 【繁殖】出産数2~10(平均5~6), 場所: 人家・ビル内, 時期: 年に数回 【国内侵入】250:- 【県内侵入】250:- 【影響】112(在来生物), 200(食品食害, 様々なものを齧る)250(糞尿被害), 230(広東住血線虫などの主要宿主) 【緊急】- 【対策】捕獲駆除 【備考】史前帰化の可能性もあり 【文献全般】347, 矢部(1988), 202 【文献県内】35, 37

哺乳類	アライグマ科		影響度	緊急度
1293	<b>アライグマ</b>	特定外来生物, 生態学会100	<b>A</b>	<b>A</b>
	<i>Procyon lotor</i>			

【原産】北米 【国内分布】日本各地 【県内分布】ほぼ全域. 生息数・分布が増加拡大中 【形態・生態】BW4-10kg, 夜行性. 木登りが得意, 雑食性, 環境: 陸域: 森林, 農村地域, 住宅地, 水辺等 【繁殖】出産数: 3~6, 場所: 樹洞, 人家の屋根裏等, 時期: 主に春 【国内侵入】162: 1960年代 【県内侵入】162: 1990年代 【影響】112, 122, 121(フクロウ類), 310, 250(糞尿騒音), 340(飼育魚), 200(文化財損傷), 230(アライグマ回虫), 260(イヌディステンパー) 【緊急】被害の増大が予測, 定着初期の早急対策が必須 【対策】外来生物法の遵守, 実態調査, 捕獲, 防護柵設置 【備考】繁殖初記録は1996年頃 【文献全般】202, 307 【文献県内】218, 12

哺乳類	イヌ科		影響度	緊急度
1294	<b>イヌ</b>		<b>C</b>	<b>B</b>
	<i>Canis familiaris</i>			

【原産】家畜種 【国内分布】日本各地 【県内分布】県内各地 【形態・生態】単独で暮らす場合もあるが, 数頭で群れをつくることが多い, 雑食性, 環境: 陸域 【繁殖】出産数: 数頭, 場所: 森林, 農村地域, 住宅地, 時期: 季節を問わず? 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】220(咬傷被害の可能性) 【緊急】- 【対策】飼育管理の強化, 外来生物問題の普及啓発, 捕獲 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

哺乳類	イタチ科		影響度	緊急度
1295	<b>フェレット</b>	要注意外来生物(情報不足)	<b>DD</b>	<b>C</b>
	<i>Mustela putorius</i>			

【原産】西ヨーロッパ(原種) 【国内分布】未定着 【県内分布】繁殖・定着は確認なし, 千葉支庁管内1頭(1990年代前半), 佐倉市西御門1頭捕獲(2006)その後生息情報無 【形態・生態】BW0.9-1.1kg, HBL30-36cm, TLL13-15cm, 不明, 雑食性, 環境: 陸域 【繁殖】- 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162: 1990年代前半 【影響】- 【緊急】- 【対策】飼育管理の強化, 外来生物問題の普及啓発 【備考】ヨーロッパケナガイタチの家畜種, ヨーロッパではウサギを巣穴から追い出すために飼育 【文献全般】307 【文献県内】-

哺乳類	ジャコウネコ科		影響度	緊急度
1296	<b>ハクビシン</b>	CITES:III	<b>A</b>	<b>A</b>
	<i>Paguma larvata</i>			

【原産】中国南東部, 台湾, 東南アジアなど 【国内分布】本州以南 【県内分布】ほぼ全域. 生息数・分布が増加拡大中 【形態・生態】BW3-5kg, HBL48-60cm, TL38-43cm, 夜行性. 樹上をよく利用, 雑食性, 環境: 陸域: 森林, 農村地域, 住宅地等 【繁殖】出産数: 2~4, 場所: 樹洞, 人家(屋根裏), 時期: 春~秋 【国内侵入】110(毛皮用養殖個体): 1940年代前後 【県内侵入】400, 162: 1980年代(県内1987年死体初記録) 【影響】110, 122, 310(ミカン, ビワ, ナシなど), 250(糞尿騒音) 【緊急】全県的に果樹等食害増大 【対策】飼育管理強化, 外来生物問題の普及啓発, 実態調査, 駆除 【備考】- 【文献全般】202, 307 【文献県内】216, 217, 35

哺乳類	ネコ科		影響度	緊急度
1297	<b>ネコ</b>	IUCN100	C	C
	<i>Felis catus</i>			

【原産】家畜種 【国内分布】日本各地 【県内分布】県内各地,不明 【形態・生態】BW2-6kg,単独生活だが一定の仲間グループがみられる.生ゴミに依存,雑食性小動物を活発に捕食,環境:陸域 【繁殖】出産数:数頭,場所:森林,農村地域,住宅地,時期:季節を問わず? 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:不明 【影響】110(在来生物)県内ではコアジサシのヒナに対する捕食が問題になっている,200(庭や家庭菜園での脱糞) 【緊急】影響の大きい地域での集中捕獲が必要 【対策】飼育管理強化,外来生物問題の普及啓発,実態調査,捕獲駆除 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】-

哺乳類	イノシシ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1298	<b>イノシシ</b>	IUCN100	A	A
	<i>Sus scrofa</i>			

【原産】北米～ユーラシア 【国内分布】全国 【県内分布】県南部,印西市,山武市,東金市など. 数・分布が急速に増加拡大中 【形態・生態】雑食性,環境:陸域:森林,農村地域 【繁殖】出産数:平均4-5,場所:耕作放棄地など,時期:7-10月 【国内侵入】:- 【県内侵入】150(野外放獣が繰り返されている),162:1980年代中頃以降 【影響】112(両生ハ虫類等),310(畦掘りおこし),200(道や斜面崩壊),220(出会い頭) 【緊急】地域状況に応じた積極的対策が必要 【対策】飼育管理強化,放獣防止,実態調査,捕獲,防護柵設置,生息地管理 【備考】在来個体群は1970年代に絶滅した可能性高 【文献全般】202 【文献県内】8,10,永田・落合.2009.野生生物保護12:27-31

哺乳類	シカ科	特定外来生物	影響度	緊急度
1299	<b>キョン</b>		A	A
	<i>Muntiacus reevesi</i>			

【原産】中国南東部,台湾 【国内分布】千葉県,東京都伊豆大島 【県内分布】県南部. 生息数・分布が増加拡大中 【形態・生態】BW10kg,HBLca.70cm,TL7-11cm,昼夜を問わずほぼ単独で行動,植食性(木の葉や果実,草),環境:陸域:森林 【繁殖】1産1子.初産齢0.5~1才程度,場所:森林,時期:年間,5~10月中心 【国内侵入】140:- 【県内侵入】140:1960~1980年代の間 【影響】113,122(ニホンジカ),270(芝,花卉類) 【緊急】効果的な捕獲方法の開発が望まれる 【対策】外来生物法の遵守,実態調査,捕獲駆除,食害の技術的防除 【備考】勝浦市にあった観光施設が移入源と考えられる 【文献全般】202,307 【文献県内】35,11,19,20,21,9